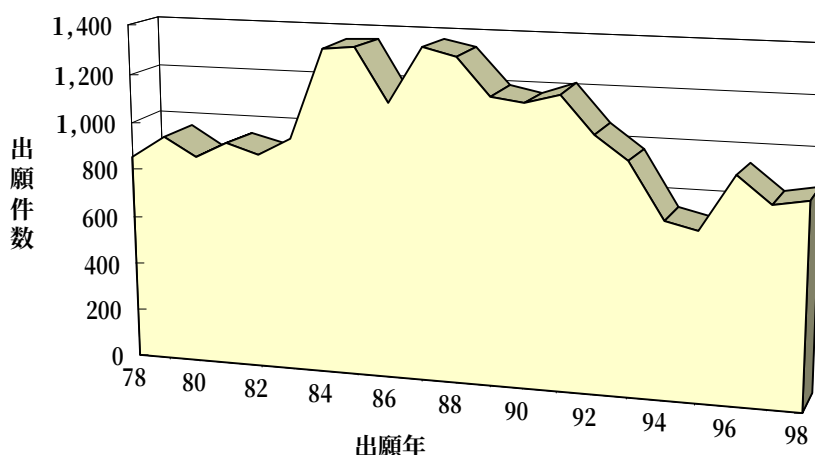


1.6 電磁波遮蔽技術の各用途への展開

電磁波遮蔽技術の各用途への展開について本節では 10 のカテゴリーに分けて概説する。1978 年 1 月から 2000 年 6 月末までの期間に公開された用途に関連した出願総数は約 23,000 件で、出願件数の推移を図 1.6-1 に示した。

図 1.6-1 用途関係全体の出願件数の推移



10 のカテゴリーを大きく 3 つに分けると、まず最初に出願件数の多いのがケーブル・通信関係である。この分野はいずれも 20 年間の出願件数が 3,500 件を超えている。

最も件数の多い領域はケーブルで約 3,900 件の出願がみられる。続いて周波数選択装置・共振器、通信機があげられる。

2 番目にはケーブル・通信以外の電気・電子機器関連があり、出願件数 1,700～3,400 件の範囲に印刷回路、電気加熱機器、電動機・発電機、電子管・放電ランプの 4 つがある。

印刷回路、電気加熱機器までが、出願件数 3,000 件を超えているカテゴリーである。電気加熱機器の出願は 1980 年代は活発な出願がみられたが、90 年代には急激に減少している。電子レンジに関する技術は技術完成度が高い水準に到達し、開発の焦点が他の分野に移行したことを示している。出願件数が 2,000 件前後の水準のものには電動機・発電機、電子管・放電ランプがあげられ、年間数十件程度の出願がみられる。

3 番目は医療・安全・保護に関する領域であり、保護容器、医療機器、繊維・包装材があげられる。

各カテゴリーに関する出願件数推移および出願件数の合計をそれぞれ図 1.6-2 と、図 1.6-3 に示した。

図 1.6-2 電磁波遮蔽用途関係の出願件数の推移

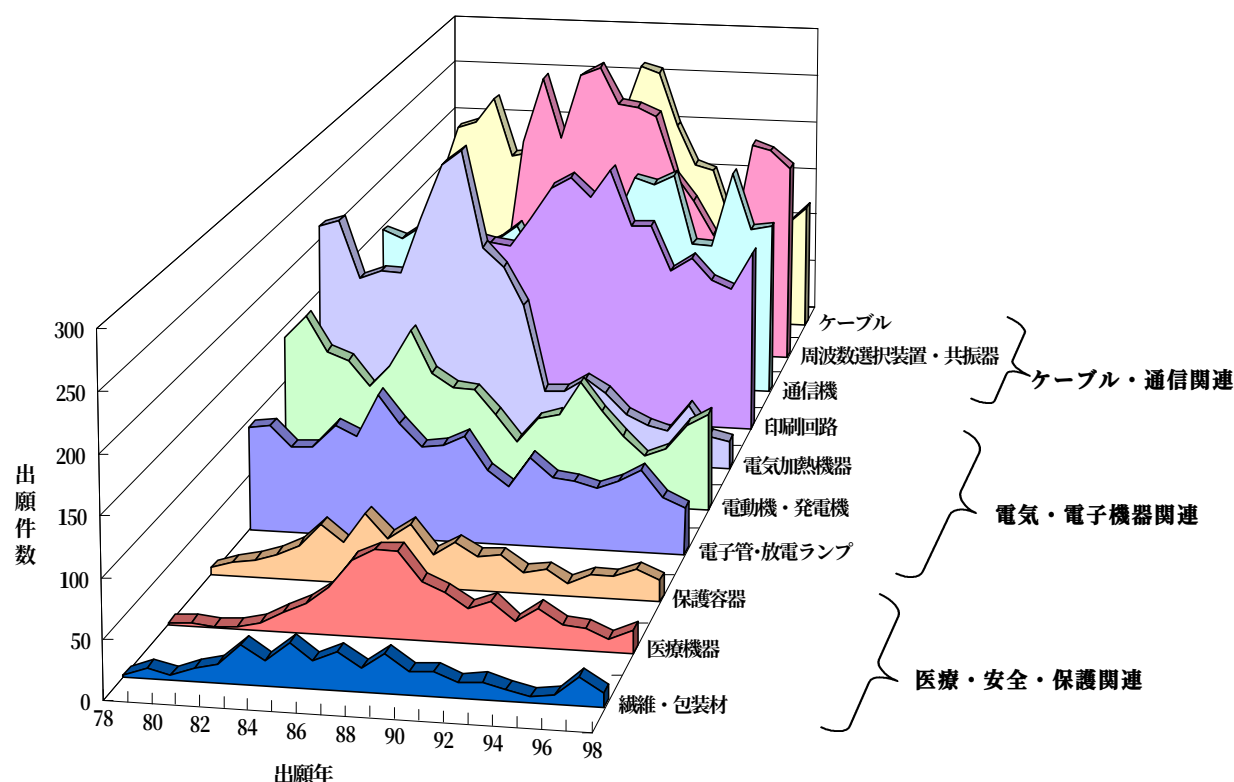
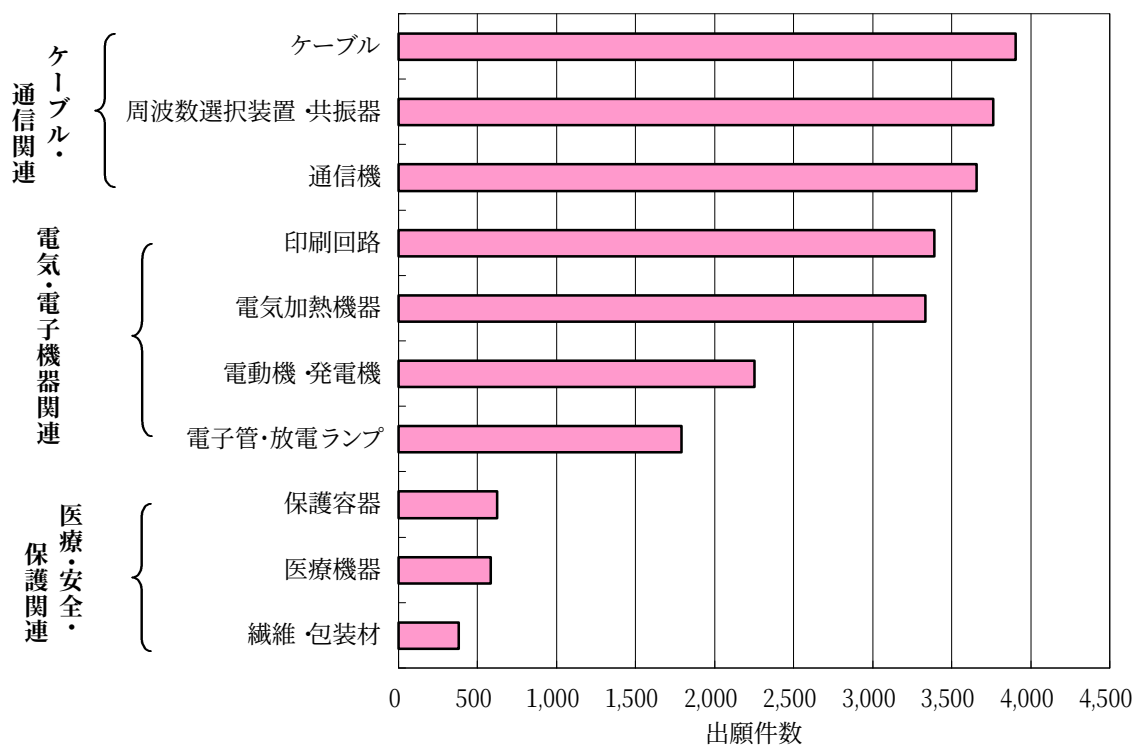


図 1.6-3 電磁波遮蔽用途関係の出願件数



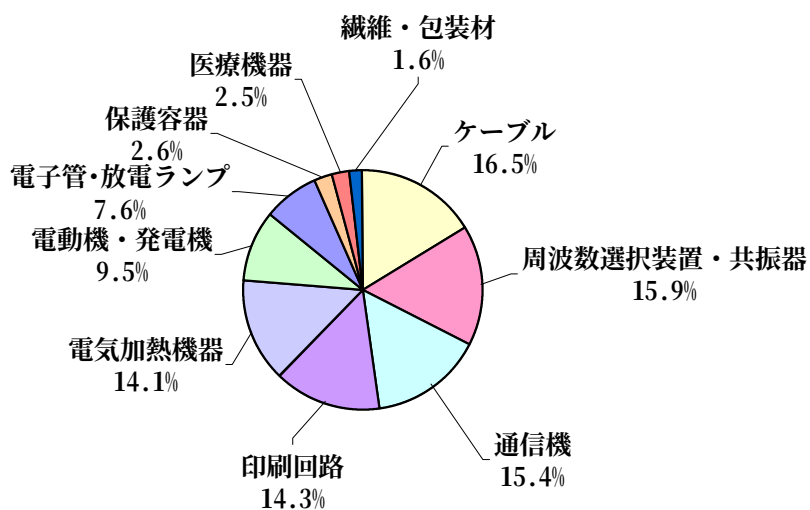
1978 年～2000 年 7 月
までに公開の出願

図 1.6-4 には上述した各カテゴリーごとの出願件数の比率を示した。

これらの用途分野の中で、出願件数の顕著な伸びがみられる領域としては、周波数選択装置・共振器と通信機の領域であり、産業の伸びの顕著な領域と深い関係がある。

1.6 節では上述した 10 分野につき、国際特許分類表に記載されている順序に従って出願状況を紹介し、顕著な変化のみられるものについては考察を行う。

図 1.6-4 電磁波遮蔽用途関係全体の出願件数の比率



1978 年～2000 年 7 月
までに公開の出願

図 1.6-5 には電磁波遮蔽用途を構成する 10 の分野とそれぞれの分野で取り上げた項目の体系を示した。

図 1.6-5 電磁波遮蔽用途の構成

